

Q. 農業委員会の見直しは



おかじままさのぶ
岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

A. 定数を含め検討する

お詫びと訂正

6月定例会

議案 PICKUP

一般質問

平成28年に農林水産省が、農業委員会の主たる使命である農地利用の最適化を、より良く果たせるように、農業委員会法が改正された。この改正に伴い、豊山町も農業委員会委員の定数を、平成28年12月27日付で条例制定し、平成29年1月1日から施行した。

改正された農業委員会法では

- ①農業委員会の業務の重点は「農地等の利用の最適化の推進」であることを明確化
- ②農業委員の選出方法を、選挙制と市町村長の選任時の併用から「市町村長の任命制」に変更
- ③「農地利用最適化推進委員」の新設

が、全体像として示され、進められた。そこで質問をする。

Q 農業委員会では、農地法

に関する項目、土地改良法に関する項目などを所掌業務とし、農地法に関する内容などを審議する。また農地パトロールとして豊山町内の農

地の点検なども行う。豊山町の農地面積5年間の推移は。

A 産業建設部長

豊山町の農地は、平成29年71ha、平成30年69ha、平成31年68ha、令和2年66ha、令和3年65haと毎年転用され、5年間で6ha減少した。

Q 農家世帯数は。

A 産業建設部長

総農家数は、平成22年に243戸、平成27年は163戸、令和2年は103戸となつて、10年間で半数以下になった。

Q 農業委員会法の一部改正

で農地利用最適化推進委員の新設がある。当町ではその推進委員はいないが、国が示す推進委員の役割は。また豊山町に無い理由は。

A 産業建設部長

農地利用最適化推進委員は、担当区域内において地域の農業者などの話し合い、農地の出し手・受け手へのアプ

ローチ、遊休農地の発生防止・解消など現場活動を行う。

農業委員会は、市町村ごとに設置が義務付けられている。しかし農地面積が著しく小さい市町村（都府県では200ha以下）は、規定で農業委員会を置かないことができる。

豊山町は、農業委員会の必置義務がない。また本町には遊休農地は無く、町内で発生する案件は、農業委員にて適切に対応が可能であり、農地利用最適化推進委員を委嘱していない。

Q 町民の方から「今後見直しをする必要がある」と

聞く。また2025年までに、愛知県が進める基幹的広域防災拠点や豊山町が整備するエリアの事業がある。この事業により農地は大幅に減少する。農業委員の定数を含めた農業委員会の在り方の見直しが必要では。

A 産業建設部長

毎年1ha以上の農地が転



おいしいお米ができますように

用され、基幹的広域防災拠点などの整備により、豊山町の農地の状況に大きな変化が生じることから、農業委員の定数を含めた農業委員会の在り方について検討する。